


10月 <small>例会</small> 山行報告書 <small>個人</small>		報告者	江頭	参加メンバー	Fさん、江頭
		報告日	10月15日		
山域	信濃富士見	山行日	08年10月11日(土)		
山名	入笠(ニウカサ)山				

山行目的	電友会SKI部登山トレーニング	コースタイム(天候:天気図記号)
配布先	ルート図(地図を見て正確に)	10月10日(金)晴 22:00 青木の森F氏邸着 23:00 就寝
集会:10	 <p>2.5万分の1地図:信濃富士見(甲府)</p>	10月11日(土)小雨のち晴 06:30 起床 07:00 朝食 08:00 F氏邸発 10:00 入笠山 11:30 F氏邸着
山行:1 リーダー		<p>分入蘭秋之唐松 木茂麗美乃呼子 鳴留音森能主迄</p> <p>わけいらんあきのからまつ こもれびのよひこなるおと もりのぬしまで</p>
原紙:集 会担当者		

同行のFさん邸で昨夜はお世話になり、朝の天気予報は午後から晴れ、「じゃ行きましょうか」。Fさんが地元の方から仕入れた情報で、昔は登山道であったというルートを使う。別荘地を抜けて、尾根に取りつくがそこに登山道はない。代わりに踏み跡生々しい、けもの道が錯綜する。「鹿でしょうね」。昨夜は車から小鹿が遊ぶのを見たし。寂れた赤テープを参考にして、尾根を直登する。

1505ピークへ出ると以外に広く、何か跡地のようにも感じる。進むとその旧登山道らしき道。人の気配はさっぱり、木漏れ日の尾根道をいいペースでオヤジが二人。小鳥がさえずり、もう雨の心配はないだろう。ふと木の幹に目がいき、いたずら書きのあと。記念とはいえ、木本を傷つけるのは如何なものか? しかも所々何本も!とある木の肌から樹液がこぼれ、痛々しいことこの上ない。

小一時間進むと傾斜も緩やかに成り、突然立派な舗装道に出る。そのつまらない車道を歩き、入笠山直下で登山道に復帰、程なくで山頂に至った。富士山、八ヶ岳と日本のアルプスを総なめにする展望は秀逸。写真を撮ってもらい、復路は愚直に来た道を戻る。舗装道から再び尾根道に下って、背丈ほどの藪こぎ手前でFさん時折鳴らすホイッスルを今一度高らかに!ピーッ、ピピー。「それも地元の方の直伝ですか?鈴より効くんでしょうね」...「いやいや、自己流。非常持ち出し袋に入っているやつ」

<リーダー所見>

今回のルートはFさんが地元の方から教えて頂き、かつ前に登られたことがあるとの事で使用する。ルートファインディングには注意。山頂に至れば、八ヶ岳連峰はもちろん、遠くに北ア、乗鞍、御嶽、中ア、南ア、富士山と360度の展望が展開する場所。スキー場のゴンドラを用いて山頂直下まで上がれば、家族でピクニックも良かるう。F氏さんと久しぶりに一緒に山にいかせて戴いた。

確認
確認
作成 江頭 '08.10.24



心無いいたずら

